

米奥小だより

令和7年1月21日(火)

No.41

米奥小学校 校長 北添 忠

○高知県統計グラフコンクール、知事賞受賞

1年生の心都さんと知瑛くんが合同で制作した統計グラフ作品が、小学校1.2年生の部で高知県知事賞を受賞しました。作品名は「しお VS さとう どちらがおおきゅうしょくにつかわれる？」で、砂糖と塩について調べ、それをグラフなどを用いて見やすく、また、みんなの興味をひくようにレイアウトした作品です。この作品は高知県での最高賞である知事賞を取ったということで、全国の統計グラフコンクールの審査にもあがりました。結果は、残念ながら受賞とはなりませんでしたが。



インターネットで「統計グラフコンクール 高知」と検索すれば、令和6年度の入賞作品が見られ、二人の作品はいちばん上に表示されています。ぜひ検索して、見てみてください。

○新聞バックづくり

20年くらい前に、四万十町十和で始まった新聞バック作り。1月16日(木)に米奥小学校児童が、その新聞バックづくりに挑戦しました。指導してくださったのは、NPO法人リバーの三本さんら二人。4年生以上は「中バック」を、3年生以下は「小バック」に挑戦しま



した。このバックは、環境に配慮しながら開発されたこともあり、材料は新聞とのりだけです。使うのりは、昔ながらの「デンプン」から作ったのりです。説明では、仮に新聞バックを山や川に捨てても、すべてが分解されて自然に返るとのことです。また、新聞から作られているにも関わらず、一定の強度があり、かわいた野菜や瓶詰めのジャムなどを入れてもやぶれたりはしないそうで、ちょっとしたプレゼントを新聞バックに入れて贈ると喜ばれるとの説明がありました。



児童らは、新聞の折り方に苦戦しながらも、形ができると気持ちが高まり、完成を待たずに

物を入れてみたり、頭にのせてみたりと楽しそうでした。

今回制作した新聞バックは、2月15日(土)に米奥小学校体育館で開催される「ほのぼの作品展」で展示予定です。

